

令和4年度 東近江市立能登川病院 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

- [1. 年齢階級別退院患者数](#)
- [2. 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
- [3. 初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数](#)
- [4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
- [5. 脳梗塞の患者数等](#)
- [6. 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
- [7. その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）](#)

年齢階級別退院患者数

[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	37	18	19	33	60	222	403	822	589	176

当院は従来からの消化器内科、外科、肝臓クリニック、小児科疾患、高齢者疾患を中心に急性期医療を行い、昴会アイセンター（眼科・眼形成眼窩外科）、滋賀人工関節センター、脊椎センターを設立しそれぞれの分野での地域医療も積極的に行っています。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス

内科では、B型肝炎・C型肝炎治療、原発性胆汁性胆管炎(PBC)、原発性硬化性胆管炎(PSC)、自己免疫性肝炎(AIH)、最近では非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)による肝硬変等難治性肝疾患治療を行い、原因不明の肝障害等にも対応しています。

小児科では、一般外来の他に発達外来、内分泌外来、また育児相談等行政や教育施設とも連携し地域に根差した小児医療を提供しています。

発熱等の小児感染症患者も積極的に診療し小児救急も可能な限り受け入れています。

また、昴会アイセンター2階に病児保育室を設置し、病気のため集団保育を受けることができない小児(小学2年生まで)を保護者の勤務の都合等により家庭で保育できない場合の受入れを行っています。

診断群分類別患者数の集計の元となる「Dファイル」を作成していないため、指標の票は掲載していません。

初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

[ファイルをダウンロード](#)

	初発					再発	病期分類 基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	-	-	-	13	-	18	1	7,8
大腸癌	-	-	11	92	-	31	1	7,8
乳癌	-	-	-	-	-	-	-	-
肺癌	-	-	-	-	-	-	1	8
肝癌	-	-	-	-	16	-	1	7,8

※ 1 : UICC TNM分類, 2 : 癌取り扱い規約

胃癌、大腸癌、肝癌に対し、腹腔鏡による外科手術や化学療法を行い再発患者についても対応を行っています。患者数には、繰り返し抗がん剤による化学療法を行っている方も含まれています。

成人市中肺炎の重症度別患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	-	0	0
中等症	33	19.18	84.27
重症	-	21.89	86.56
超重症	-	14.80	88.80
不明	-	0	0

近隣の高齢者施設や重度障害者施設とも連携し、主に中等症の市中肺炎の治療を行っています。その他、高齢者に多発する誤嚥性肺炎や尿路感染症、脱水症や心不全、腎不全等の合併症にも対応しています。重症度の高い症例については高度急性期病院への紹介もを行っています。

脳梗塞の患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	18	24.33	84.61	25.00
その他	-	35.83	84.33	4.17

救急要請のあった脳卒中患者に対応、急性期治療、リハビリもを行っています。また、関連病院を含む高度急性期病院への搬送も視野に入れて対応しています。

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2センチメートル未満)	50	0.30	1.16	0.00	68.72	
K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2センチメートル以上)	10	0.00	2.70	0.00	65.60	
K688	内視鏡的ステント留置術	-	1.38	9.63	0.00	78.38	
K654	内視鏡的消化管止血術	-	2.86	8.29	14.29	80.57	
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術)	-	0.00	7.50	0.00	72.67	

消化器内科専門医による内視鏡手術を行っています。総胆管結石等による閉塞性黄疸に対しステント留置術やドレナージも行っていきます。

健診事業も積極的に行っており、大腸ポリープを指摘された方のポリープ切除術も多数行っています。ポリープ切除術については外来手術も対応しています。

外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	14	1.14	3.21	0.00	62.36	
K6335	鼠径ヘルニア手術	12	1.08	3.17	0.00	76.92	
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	10	2.50	4.40	0.00	62.60	
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術(虫垂)	-	0.14	3.14	0.00	34.71	

	周囲膿瘍を伴わないもの)						
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	-	4.43	14.71	0.00	73.43	

消化器外科専門医による緊急等も含めた手術を行っています。腹腔鏡による結腸悪性腫瘍切除術、胃悪性腫瘍手術も行い術後の化学療法も入院、外来で行っています。その他外傷による救急対応や入院診療も受け入れています。

整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0821	人工関節置換術 肩、股、膝	252	1.13	17.76	2.38	71.08	
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	28	0.93	20.61	21.43	81.75	
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	16	1.38	26.13	62.50	86.50	
K1425	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）椎弓切除	15	2.20	15.67	6.67	78.80	
K082-31	人工関節再置換術 肩、股、膝	-	1.00	25.75	0.00	77.38	

2年前より滋賀人工関節センターを設立し、多くの症例を経験した専門医による手術を行っています。特に膝や股関節の変形性関節症に対する人工関節置換術を中心に行っており、大腿骨骨折に対する骨折観血的手術や大腿骨頭挿入術も多症例行っています。

昨年11月には脊椎領域の専門医を招き脊椎センターを立ち上げ内視鏡下手術・指導医による脊椎固定、椎間板ヘルニア手術等も行っています。急性期の期間終了後は、回復期リハビリテーションが実施可能な病院へ転院いただくケースも多くあります。他医療機関からも多数紹介をいただき、手術の要否に関わらず診療しています。

眼科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K2821 □	水晶体再建術 (眼内レンズを挿入する場合) (その他)	473	0.04	1.01	0.00	74.95	
K2801	硝子体茎顕微鏡下離断術(網膜付着組織を含む)	282	0.02	4.18	0.00	66.74	
K2682 イ	緑内障手術(流出路再建) (眼内法)	77	0.00	1.73	0.00	73.25	
K2802	硝子体茎顕微鏡下離断術(その他)	28	0.00	1.96	0.00	72.54	
K2191	眼瞼下垂症手術(眼瞼挙筋前転法)	22	0.00	1.00	0.00	73.64	

昂会アイセンターにて眼科診療を充実させ、2022年より専用の手術室2室を設置しました。地域のニーズに応じて積極的に眼科手術を行っています。また、滋賀県内の眼科救急等にも対応しています。当院には複数の眼科専門医が在籍しており、白内障に対する水晶体再建術を中心に網膜剥離や緑内障の手術等も積極的に行い、難症例についても可能な限り対応しています。

眼窩形成外科の専門医による眼瞼下垂症手術や、眼窩腫瘍摘出術等も行っています。小児眼科の診療も行っており、入院での斜視手術や内反症手術も行っています。

その他 (DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

[ファイルをダウンロード](#)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	0	0.00
		異なる	0	0.00
180010	敗血症	同一	0	0.00
		異なる	0	0.00
180035	その他の真菌感染症	同一	0	0.00
		異なる	0	0.00
180040	手術・処置等の合併症	同一	19	0.80
		異なる	-	0.17

播種性血管内凝固症候群は、基礎疾患の悪化等により全身の血管に小さな血液の固まりが無数に生じ、細い血管を詰まらせるため出血傾向や臓器障害を起こす病気です。

敗血症は、何らかの細菌やウイルスに感染することで、全身に感染が広がり様々な症状を引き起こす病気です。

当院では、手術・処置等の合併症少数ありますが、起こり得る合併症については事前に説明し同意をいただいて手術、処置を行っています。